

2-T-5

神戸常盤大学卒業生を中心としたリカレント教育プログラムの開発

田村周二¹⁾

坂本秀生¹⁾

臨床検査技師養成大学における医療技術の進展に対応するため、当大学では社会貢献の観点から社会人を対象に超音波検査を中心としたリカレント教育プログラム開発(案)を実施している。2018年6月より始まったリカレントオープンカンファレンスも2019年12月で第15回となった。これまでに参加された600名を超える臨床検査技師に対する質問調査の結果にて、講義に使用した教材内容に対し「よくわかるものであったか、また他の勉強会との違いはありますか」という設問に対しては「疾患動画が多く教材内容がとても参考になった」「血液データや病理診断に至るまで解説して頂き病気をみる大事さがわかった」など82%が満足するものであった。さらに、回答があった出席者の約3割が今後、超音波検査士の免許取得を希望し、その中の36%が健診領域の受験を希望していることが確認された。今後もさらに超音波検査士の認定試験に必要な各種診断基準や基礎知識(解剖・超音波所見・概念・鑑別診断等)を多いに盛り込んでいく所存である。そして、超音波検査士を受験される技師に必要な提出症例の添削補助を行い、数多くの認定超音波検査士を神戸常盤大学から育て上げていきたいと考えている。今後も新人やベテラン技師に限らず、多くの臨床検査技師に超音波検査士の役割を認識してもらい、専門性の高い卒後学習・生涯学習に対する意欲を高めてもらえるようリカレント教育プログラムの開発を目指し継続していきたい。

1) 保健科学部医療検査学科